浜田化学株式会社

2024 年度 環境経営レポート

（対象期間 2023 年 6 月 1 日 ～ 2024 年 5 月 31 日）

Hamada Kagaku
浜田化学株式会社
〒660－0843
兵庫県尼崎市東海岸町1番地の4
TEL:06－6411－3457
FAX:06－6411－8200

作成日:　2024年7月10日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ・環境経営方針	3
組織の概要　認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可一覧	6
廃棄物処理フロー	7
主な環境負荷の実績・環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反，訴訟等の有無	12
代表者による全体の評価と見直し・指示 これまでの環境活動の紹介	13

□ごあいさつ

当社は、すべての企業活動・製品およびサービスにおいて、環境を常に意識し、“ヒトと地球に優しい製品・サービス”を提供するとともに、安心安全な社会・自然環境を破壊する反社会的行為を排除します。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

志
Cocolozashi

私たちは環境ビジネスを通じ地球環境の改善と人類の発展に貢献します。
常にお客さまに満足と納得のいただける安心安全なリサイクルを笑顔で提供します。
さまざまな変化の中で最適な環境システムを構築するための不断の努力を行います。

＜環境保全への行動指針＞

１． 廃食用油のリサイクルシステムを広く普及させ、水資源の保全と資源の有効活用に貢献する。

２． 省エネルギー、省資源、有害物質の排除を推進し、環境負荷の極小化に配慮する.

３． 常に環境推進体制・組織を最適化し、環境活動を推進する。

４． 社員の環境意識を高めるよう、環境教育・啓発活動を積極的に展開し、周知徹底させる。
また外部に対しても、環境負荷と環境対応状況を積極的に公開する。

５． EMS（環境マネジメントシステム）を構築し、環境目的・目標を定めて定期的に見直し、
環境汚染・災害の防止と、環境負荷の継続的な改善を行い、関連する法規制等を遵守する。

６． 環境技術とエコ商品等の研究・開発を推進し、その成果を広く社会へ還元する。

７． 行政機関、地域や関係団体等との連携を密にし、社会全体の環境保全活動に積極的に
参画・支援・協力する。

８． 物品の調達、資材の仕入れ時は環境に配慮されたものを優先的に選択する。

制定日: 2010年6月1日
浜田化学株式会社

代表取締役　**岡野嘉市**

□組織の概要　　更新日: 2024年6月20日

（1）名称及び代表者名
浜田化学株式会社
代表取締役　岡野　嘉市

（2）所在地

本社・リサイクル工場・阪神営業所	兵庫県尼崎市東海岸町1番地の4
京都営業所	京都府京都市南区上鳥羽北花名町38-1
名古屋営業所	愛知県小牧市藤島町中島18
富山営業所	富山県富山市松浦町9-20
静岡営業所	静岡県静岡市駿河区中島2835-1
川西支店	兵庫県川西市久代1-27-22 A
CYCLE　HUB+（サイクル　ハビタス）	兵庫県洲本市五色町下堺1062-2

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	総務部長	岡野　輝平	TEL：06－6411－3457
担当者	総務部	山崎　諒	TEL：06－6411－3457

（4）事業内容
産業廃棄物収集運搬業・処分業（廃食油のリサイクル）、油脂・環境商品の販売、環境ソリューション事業
店舗衛生メンテナンスサービス、農業

（5）事業の規模
法人設立　1970年　6月　22　日
資本金　5,000 万円
売上高　291,741 万円

	本社・工場・阪神	京都	名古屋	富山	静岡	川西	CYCLE	合計
従業員	75 名	12 名	10 名	5 名	5 名	2 名	1 名	110 名
延べ床面積	2730.92 ㎡	557.75 ㎡	564.2 ㎡	754.7 ㎡	278.56 ㎡	12 ㎡	30 ㎡	4928.13 ㎡

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	19,399 t		
中間処理量	21,023 t	うち再資源化量	20,588 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	380 t	うち再資源化量	284 t

車種	台数	備　考	車種	台数	備　考
2t箱型トラック	4 台		3tパッカー車	1 台	
2t平ボデートラック	1 台		4tダンプ車	1 台	
3t箱型トラック	27 台		10t箱型トラック	2 台	
3.5t箱型トラック	18 台		10t冷凍冷蔵車	2 台	
3t平ボデートラック	2 台		10tタンクローリー車	1 台	
3.5t平ボデートラック	1 台		軽トラック	2 台	
3.5tタンクローリー	1 台		社用乗用車	9 台	
3tバキューム車	1 台		合計	73 台	

積み替え保管施設

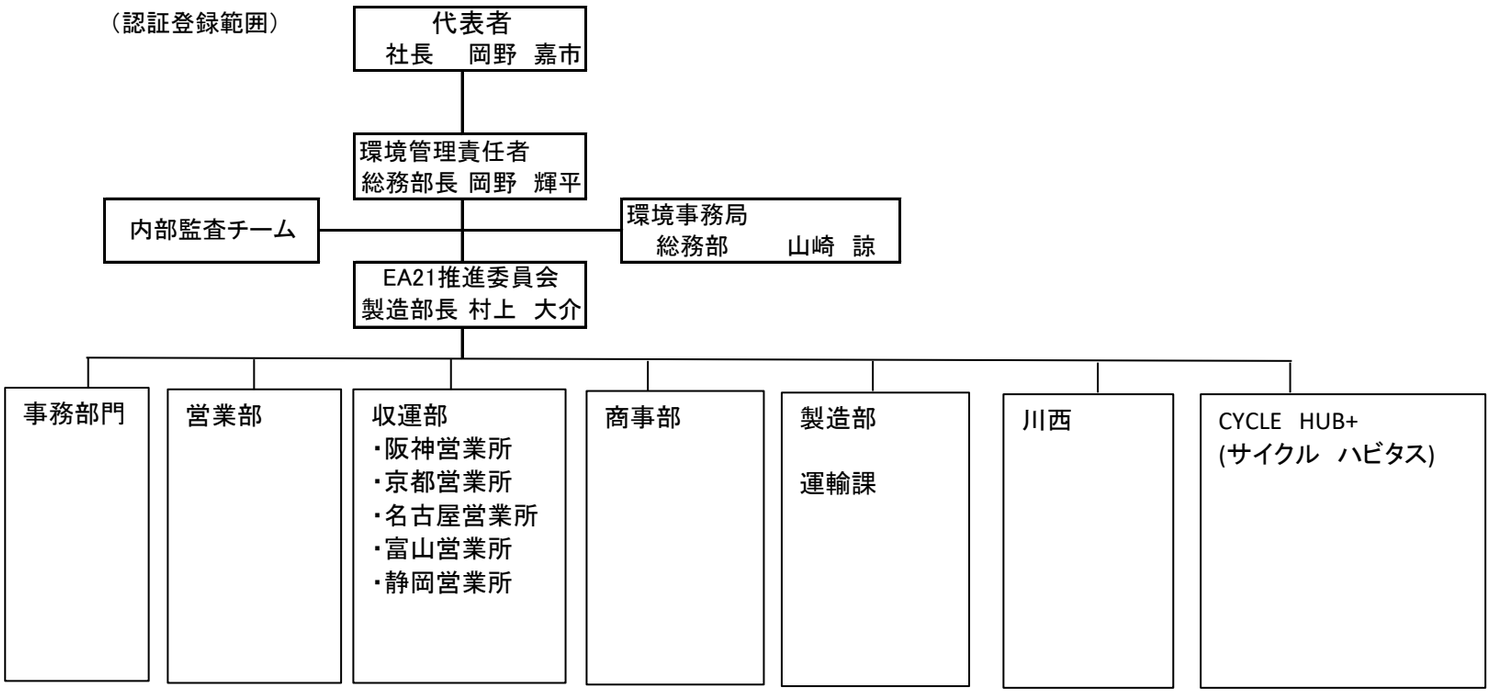
名称	保管面積	保管上限	備考
本社工場	156.6 ㎡	27.6 m	
京都営業所	22.4 ㎡	42.4 m	※2024.8に取得
名古屋営業所	434 ㎡	373.7 m	
静岡営業所	34 ㎡	12.4 m	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:　浜田化学株式会社
対象事業所:　本社・リサイクル工場・阪神営業所
京都営業所
名古屋営業所
富山営業所
静岡営業所
川西支店
CYCLE　HUB+（サイクル　ハビタス）

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年6月20日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画
	・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可一覧

許可一覧	都道府県・市	許可番号	許可年月日	許可期限	汚泥	廃油	動植物性残渣	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	ゴムくず	燃え殻	動物系固形不要物	鉱さい	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	第13号廃棄物	備考（条件等）
1	北海道	00100000618	令和4年10月18日	令和9年10月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	青森県	00201000618	令和4年10月3日	令和9年10月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
3	岩手県	00300000618	令和4年10月5日	令和9年10月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。特管廃棄物を除く。 工作物の新築、改築、除去に伴って生じたものを除く。
4	宮城県	00400000618	令和4年11月21日	令和9年11月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
5	秋田県	00506000618	平成20年10月23日	令和10年10月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物であるものを除く。
6	山形県	00609000618	令和4年9月16日	令和9年9月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。特管廃棄物を除く。
7	福島県	00707000618	令和4年11月7日	令和9年11月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※ガラスくず・コンクリートくず：工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。
8	茨城県	00801000618	平成30年2月7日	令和10年2月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
9	栃木県	00900000618	平成30年4月6日	令和10年4月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	群馬県	01100000618	平成30年1月4日	令和10年1月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	埼玉県	01100000618	令和5年1月20日	令和10年1月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	千葉県	01200000618	平成30年4月23日	令和10年4月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
13	東京都	13-00-000618	平成21年10月26日	令和11年10月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	神奈川県	01400000618	令和5年2月2日	令和10年2月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物であるものを除く。
15	新潟県	01509000618	平成14年2月21日	令和9年2月20日		○						○													水銀使用製品産業廃棄物を除く。
16	富山県	01606000618	平成11年12月15日	令和11年12月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○		○	○		○	自動車等破砕物であるもの、水銀含有ばいじん等であるものを除く。 ⑬要分析表以外取得
17	石川県	01700000618	平成12年6月21日	令和7年6月20日		○																			判定基準に適合しないもの、特管であるもの、石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。
18	福井県	01801000618	平成13年3月12日	令和8年3月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											自動車破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く。
19	山梨県	01900000618	平成28年10月27日	令和8年10月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く。
20	長野県	2009000618	平成12年4月18日	令和12年4月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	岐阜県	02100000618	平成9年2月28日	令和9年2月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								自動車破砕物を除く。工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。石綿含有産業廃棄物であるものを除く。
22	静岡県	02202000618	平成11年12月9日	令和11年12月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	静岡市	06212000618	平成11年12月9日	令和11年12月8日	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○		○		○	○			金属くず（カセットコンロ用ボンベに限る） ⑬要分析表および13号廃棄物以外取得
24	愛知県	02310000618	平成5年5月10日	令和10年5月9日	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。 水銀使用製品産業廃棄物を除く。（積保品目）
25	三重県	02400000618	平成11年2月18日	令和11年2月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。
26	滋賀県	02501000618	平成4年10月13日	令和10年8月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。
27	京都府	02600000618	平成4年6月19日	令和9年6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									特別管理産業廃棄物、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除く。
28	京都市	06510000618	令和6年8月22日	令和11年8月21日	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○								水銀含有ばいじん等を除く。
29	大阪府	02700000618	平成6年8月1日	令和11年7月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	尼崎市	7117-000618	昭和61年3月4日	令和8年3月26日	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○									工作物の除去等を除く。
31	兵庫県	02801000618	平成5年7月27日	令和10年7月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	奈良県	02900000618	平成6年1月7日	令和11年1月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	和歌山県	03000000618	平成11年3月29日	令和11年3月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	鳥取県	03101000618	平成16年12月21日	令和11年12月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	自動車等破砕物を除く。特別管理産業廃棄物を除く。工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。 ⑬動物系固形不要物を品目として扱っていない
35	島根県	03200000618	令和4年10月27日	令和9年10月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。 特別管理産業廃棄物であるものを除く。汚泥は含水率85%以下のものに限る。
36	岡山県	03301000618	平成16年1月27日	令和11年1月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く
37	広島県	03400000618	平成16年2月12日	令和11年2月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	判定基準に適合しないもの及び自動車等破砕物を除く
38	山口県	03500000618	令和4年11月16日	令和9年11月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物を除く。
39	徳島県	3600000618	平成16年3月26日	令和11年3月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。特別管理産業廃棄物、自動車破砕物であるものを除く。
40	香川県	03709000618	平成16年4月20日	令和11年4月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く 。
41	高松市	09713000618	令和6年4月15日	令和11年4月14日		◎						◎													自動車破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く。
42	愛媛県	03807000618	平成17年1月31日	令和12年1月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	高知県	03900000618	平成16年12月20日	令和11年12月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
44	福岡県	04000000618	令和4年11月14日	令和9年11月13日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
45	佐賀県	04101000618	令和4年10月31日	令和9年10月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
46	長崎県	04200000618	令和4年12月9日	令和9年12月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物であるものを除く。
47	熊本県	0430500618	令和4年11月11日	令和9年11月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自動車等破砕物を除く。
48	大分県	04402000618	令和4年11月7日	令和9年11月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物であるものを除く。 自動車等破砕物を含まない。
49	宮崎県	04503000618	令和4年11月28日	令和9年11月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物であるものを除く。
50	鹿児島県	04604000618	令和4年10月27日	令和9年10月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物であるものを除く。 自動車等破砕物を含まない。
51	沖縄県	04704000618	令和4年11月7日	令和9年11月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別管理産業廃棄物を除く。
1	尼崎市	7127-000618	昭和61年8月13日	令和8年3月26日	●	●	●																		注1
2	富山市	08525000618	平成30年7月1日	令和10年6月30日		●		●				●													注2・注3

●処分業　○収集運搬業（積替保管なし）　◎収集運搬業（積替保管あり）

注1：汚泥・動植物性残渣…食品関連施設から発生した油分を含むものに限る

注2：廃油…特別管理産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く

注3：廃プラ類・金属くず…これらのうち特別管理産業廃棄物・石綿含有産業廃棄物であるものを除く

阪神営業所（本社）：〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-4

京都営業所：〒601-8127 京都府京都市南区上鳥羽北花名町38番地1

名古屋営業所：〒485-0062 愛知県小牧市藤島町中島18番地

富山営業所：〒931-8406 富山県富山市松浦町9-20

静岡営業所：〒422-8046 静岡県静岡市駿河区中島2835-1

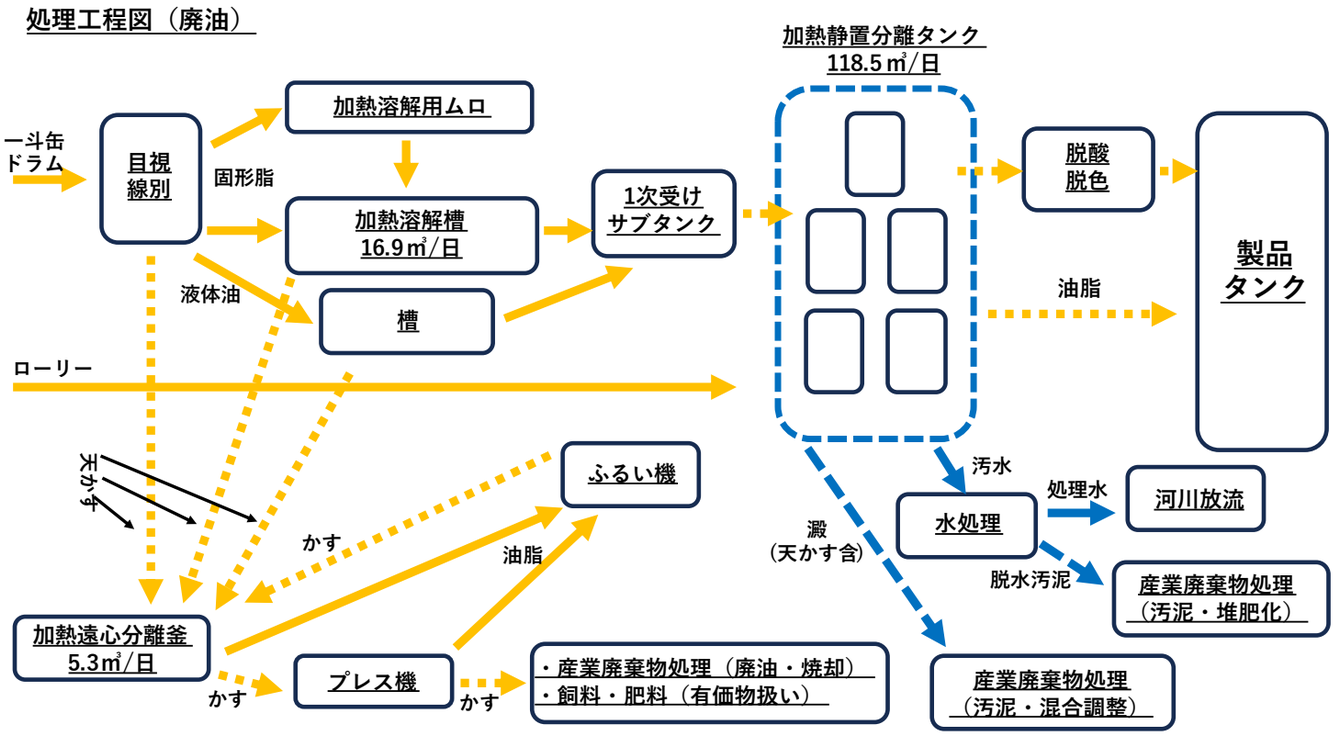
千葉営業所：〒292-0009 千葉県木更津市金田東6丁目47-23

川西支店：〒666-0024 兵庫県川西市久代一丁目27番22号A

尼崎市処分場：〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-88

富山処分場：〒931-8406 富山県富山市松浦町2-13

□廃棄物処理フロー



処理料金について
提示方法：廃食用油の品質･排出量に伴い別途相談

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	1,466,538	1,494,537	1,544,170
受託収集運搬量	トン	18,605	18,811	19,399
受託中間処理量	トン	20,945	20,963	21,023
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン	714	1,082	909
一般廃棄物排出量	トン	28.6	33.9	32.2
産業廃棄物排出量	トン	685.7	1,047.9	877.1
水使用量	㎥	7,216	7,243	7,346

※二酸化炭素排出係数　0.418　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後の係数

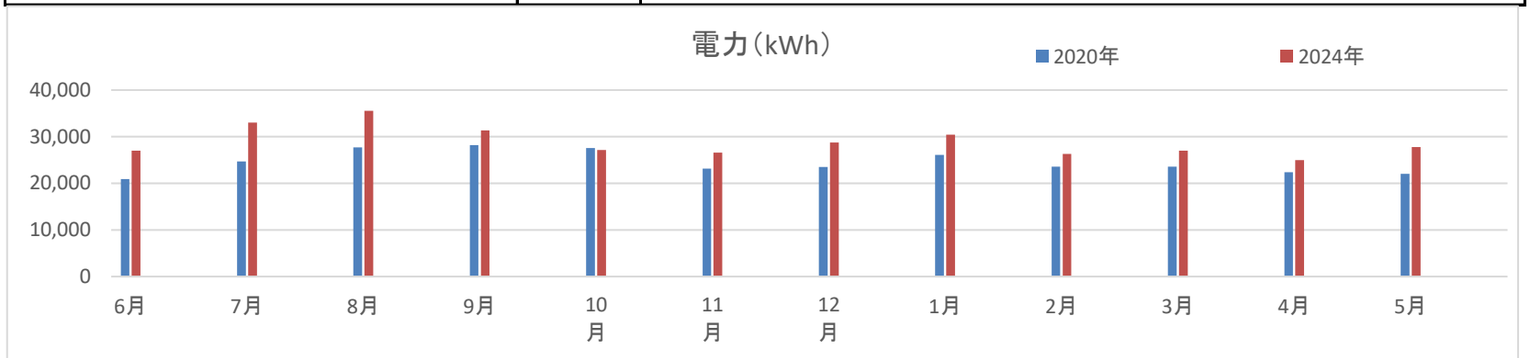
□環境経営目標及びその実績

項目 ＼ 年度		基準値	2024年度		評価	2025年度	2026年度
			上段：通期 下段：12月末まで				
		（基準年）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	122,288	118,619	144,578	×	117,396	116,173
	基準年度比	2020年	97%	118%		96%	95%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	476,654	462,354	396,241	○	457,588	452,821
	基準年度比	2020年	97%	83%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,044,755	1,013,413	973,776	○	1,002,965	992,517
	基準年度比	2020年	97%	93%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO	1,643,696	1,594,386	1,514,596		1,577,949	1,561,512
一般廃棄物の削減	kg	35,887	34,810	32,209	○	34,452	34,093
	基準年度比	2020年	97%	90%		96%	95%
受託廃棄物のリサイクル量の増量	kg	16,559,182	17,387,141	19,399,102	○	17,387,141	17,718,325
	基準年度比	2020年	105%	117%		105%	107%
水道水の削減	㎥	8,917	8,649	6,509	○	8,560	8,471
	基準年度比	2020年	97%	73%		96%	95%
化学物質（水酸化ナトリウムの適正管理）	kg	870	844	4,196	×	835	827
	基準年度比	2020年	97%	482%		96%	95%
環境に配慮した収集運搬	行動目標（次項による）						

□環境経営計画の取組結果とその評価

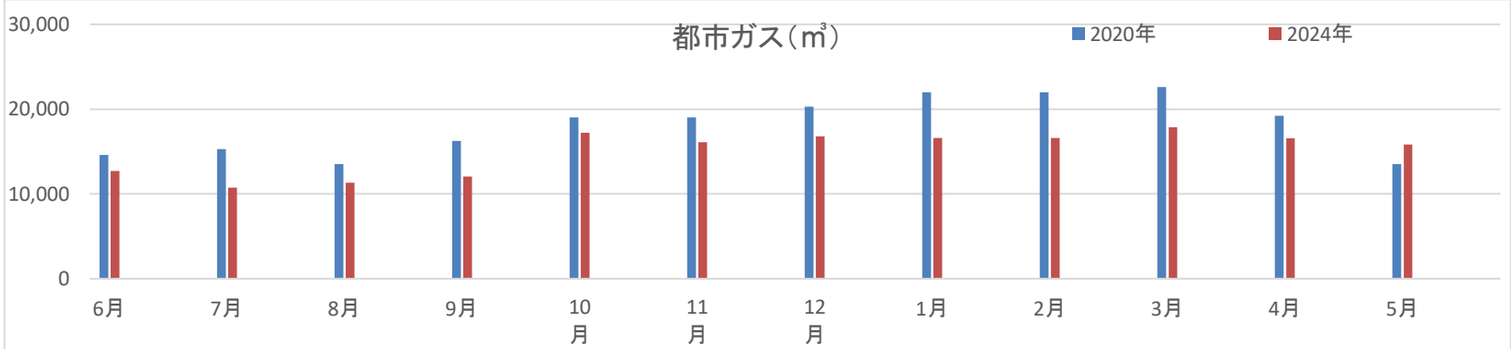
数値目標：〇達成　×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	従業員の増加による利用場所・利用時間の増加 各利用場所における節電の周知徹底と利用時間の制限に努めていく
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	△	
・不要照明の消灯	〇	
・PCや工場の機械設備の計画停止	△	



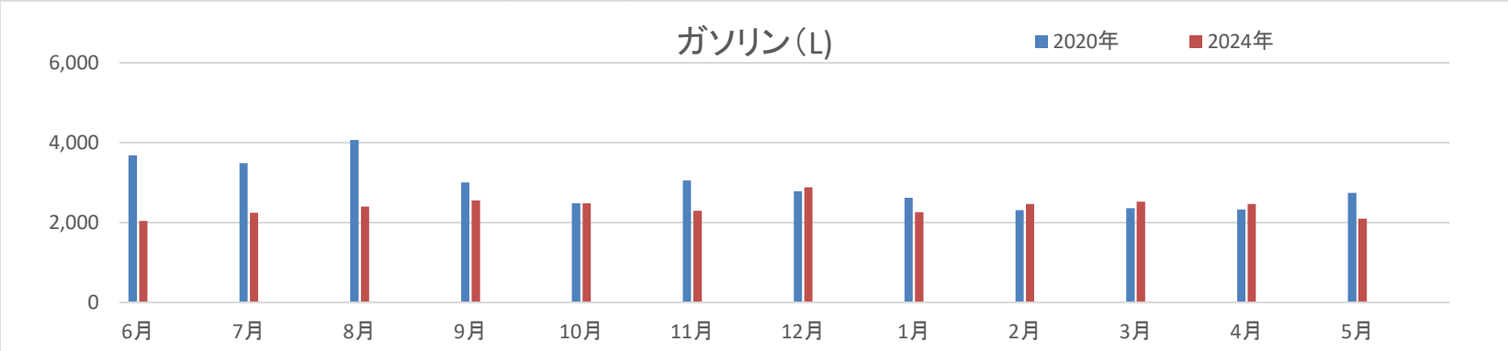
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	20,939	24,700	27,719	28,191	27,572	23,151	23,472	26,075	23,542	23,542	22,402	22,048
2024年	27,006	33,031	35,551	31,358	27,175	26,597	28,719	30,405	26,318	26,993	24,987	27,741

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	工場の稼働日数減、また代替燃料利用による削減効果あり 引き続き削減方法と代替燃料の検討と実験を実施していく
・蒸気・温水配管の保温修理	〇	
・蒸気漏れの定期点検	〇	

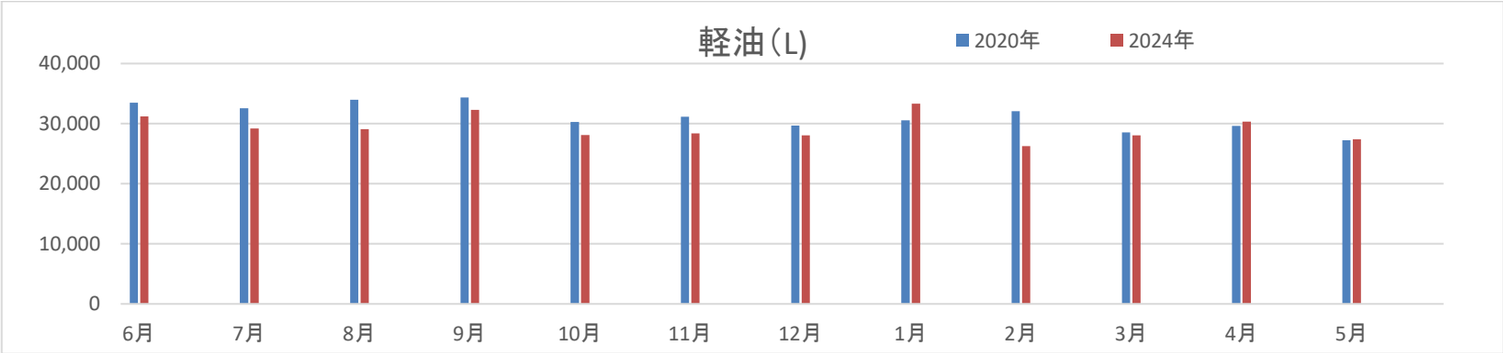


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	14,580	15,304	13,535	16,247	19,018	19,028	20,288	22,007	22,007	22,585	19,199	13,527
2024年	12,710	10,735	11,318	12,061	17,200	16,079	16,800	16,609	16,609	17,878	16,572	15,841

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	車両台数は微増、回収量も増加傾向あり 依頼情報の集約とコースの集約方法について検討し効率化を実施していく
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで回収	△	
・緊急の回収件数の削減	△	

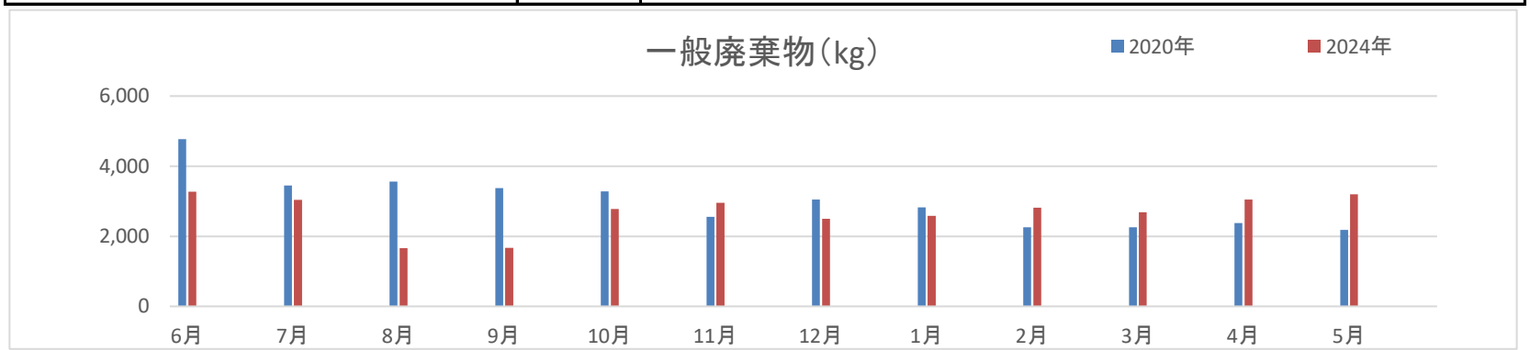


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	3,681	3,487	4,067	3,006	2,479	3,057	2,781	2,619	2,308	2,356	2,326	2,742
2024年	2,042	2,241	2,400	2,555	2,485	2,295	2,884	2,258	2,462	2,519	2,462	2,098



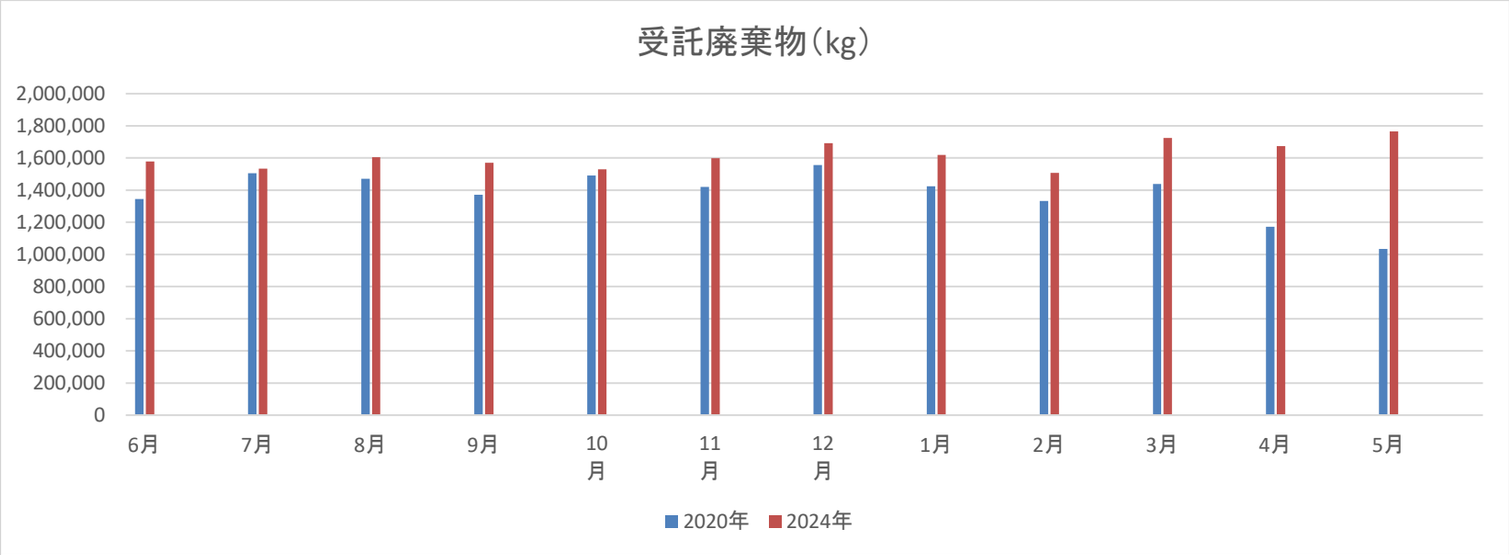
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	33,502	32,554	33,994	34,343	30,260	31,171	29,669	30,576	32,075	28,552	29,640	27,218
2024年	31,196	29,189	29,104	32,306	28,110	28,390	28,040	33,297	26,232	28,039	30,307	27,415

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	従業員増による増加 リサイクルの可否と周知方法を検討し改めて実施していく
・分別の徹底	○	
・再生利用の徹底	○	



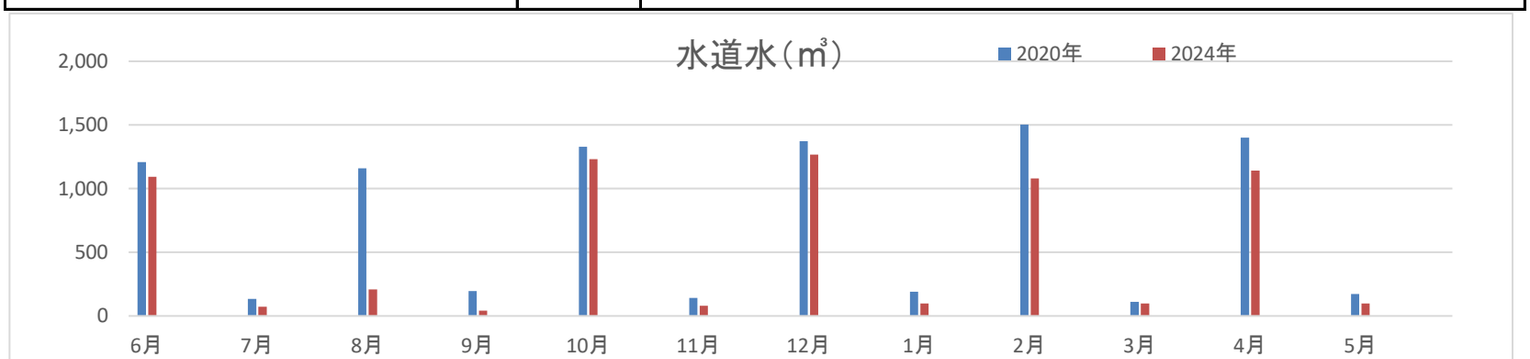
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	4,767	3,446	3,565	3,375	3,277	2,556	3,044	2,828	2,260	2,260	2,380	2,180
2024年	3,273	3,044	1,657	1,668	2,783	2,959	2,501	2,583	2,811	2,682	3,046	3,202

受託廃棄物のリサイクル量の増量	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エリア戦略に基づいた増加と新規開拓及び
・顧客開拓	○	顧客からの新規依頼における増加
・回収ルートの効率見直し	○	リサイクルの重要性と啓蒙活動を継続維持していく



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	1,344,600	1,505,380	1,470,200	1,370,990	1,491,810	1,419,660	1,556,050	1,423,952	1,333,290	1,438,020	1,171,670	1,033,560
2024年	1,578,716	1,534,262	1,605,252	1,570,355	1,530,132	1,598,708	1,691,874	1,619,495	1,506,535	1,725,411	1,673,889	1,764,473

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	工場の稼働日数減による節水効果
・工場洗浄水の節約	○	敷地の有効活用による時間短縮の効果あり



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	1,208	134	1,159	196	1,328	142	1,372	190	1,503	112	1,401	173
2024年	1,094	73	208	41	1,231	80	1,268	98	1,080	98	1,141	97

化学物質（水酸化ナトリウムの適正管理）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	利用用途と利用時の使用量を改めて検討していく
・有害性の周知	○	
・容器の蓋の徹底	○	

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	○	車両事故、物損事故が大幅に減少
・エコドライブの推進（燃料使用量は別項目で実	○	引き続き安心安全な業務遂行を実施していく
・車両の清掃	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

環境関連法規等取りまとめ表（遵守評価記録）

取りまとめ表の更新：毎年定期的な遵守評価を実施する際に制定、改正の確認を行い変更があれば更新する

取りまとめ表更新日：　2024/6/20　遵守評価日：　2024/7/1

遵守評価の時期：代表者による見直しの前段階

法規制等の名称	該当する要求事項 （対応すべき事項）	遵守評価 （環境管理責任者評価）
廃棄物処理法	・委託基準：一廃収集業者の許可の確認	○
	・（一廃）事業許可証	○
	・（産廃）事業許可証	○
	・（産廃）マニフェスト（紙）の交付を受けずに産廃の引渡しの受託の禁止	○
	・（産廃）収集運搬時マニフェスト・許可書の携帯	○
	・最終処分場の技術基準・維持管理基準の遵守	○
	・施設の定期検査及び維持管理情報公開	○
	・積替え保管基準の遵守	○
	・委託基準：産廃収集運搬・処分業者の許可確認、契約	○
	・保管基準：掲示板：60cm×60cm以上表示飛散・浸透防止・衛生管理	○
	・マニフェスト交付：B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報A、B2、D、E票の保管（5年間）	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
	・処理の状況について確認の努力義務	○
	・自社による運搬時の表示、書類携行	○
道路運送車両法	・車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○
道路交通法	・車両の大きさ・重量、アルコールチェック	○
下水道法	・除害施設の設置	○
	・特定施設がある場合の水質測定	○
水質汚濁防止法	・排出基準の遵守	○
	・排水濃度の測定・記録（3年保存）、監視	○
浄化槽法	・保守点検、清掃、記録の保管（3年間）	○
	・定期水質検査	○
温暖化対策推進法	・温室効果ガスの排出の抑制 ・国、地方公共団体の施策に協力（国民の責務）	○
フロン排出抑制法	・環境影響の少ない指定製品の使用に努める	○
	対象：第1種特定製品 ・簡易点検（すべて　1回/3ヵ月以上） ・記録の保管（廃棄後3年間）	○
労働安全衛生法	・職場における労働者の安全と健康の確保	○
	・衛生管理者の選任	○
	・健康診断の実施	○
消防法	・防火管理者の選任　・消防計画の作成 ・避難訓練の実施　・少量危険物の保管	○
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努める	○

保管：環境事務局　　遵守評価の欄：確認した記録など記入　判定欄：○×

伝達：関連部署　　（×の場合は問題点是正／予防処置票により解決を図る）

当社が遵守すべき環境関連法規及び条例に対する違反又は関係当局からの違反など
指摘に関しても過去３年間無く、環境に関する訴訟等もありませんでした。

2024年7月1日　　浜田化学株式会社

代表取締役　岡野　嘉市

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月1日

【前回の指示への取組結果】

＜情　報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等）		◇環境方針
◇環境経営目標・計画の達成状況	➡	◇環境経営目標・環境経営計画
◇その他 （利害関係者からの苦情・要請等・環境上の問題点）		◇実施体制他

本事業を通して地域の皆様やお客様と繋がる事が出来た1年となりました。
リサイクルのご依頼だけではなく、地域のイベントや展示会にお声掛けいただき様々な形でリサイクル活動が実施出来ました。
今回の活動をきっかけとして更なる啓蒙活動を実施していきます。

来年度は新しい新社屋(本社事務所)の稼働を予定しております。
当社の本事業である廃食用油のリサイクルだけではなく、お客様のニーズに合わせ様々な廃棄物のリサイクルに取り組み
今まで以上に資源循環型社会の構築及び推進に貢献できるよう努めて参ります。

環境経営方針

☑ 変更なし　　☐ 変更あり

環境経営目標・計画

☑ 変更なし　　☐ 変更あり

実施体制

☑ 変更なし　　☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

■ロハスフェスタ万博秋2023（＠大阪府吹田市・2023年10月）
　ご家庭で使い終わった油の回収とそれを利用したバイオ燃料の提供し会場で利用していただいております。
　不要になった油をイベント内で目に見える形で利用しております。

■春のワイワイフェスタ（＠イズミヤショッピングセンター六地蔵店・2024年3月）
　使い終わった油(廃油)でキャンドル作りを行うイベントで参加させていただきました。地域の皆様に向けて啓蒙活動を行っております。